平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月26日

上場会社名　四国化成工業株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4099　URL　http://www.shikoku.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役会長 兼 C. E. O.　(氏名) 山下　矩仁彦
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員　企画・管理担当　(氏名) 富田　俊彦　TEL 0877-22-4111

四半期報告書提出予定日　平成24年8月10日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	10,643	2.6	1,433	2.2	1,411	△4.6	764	△6.6
24年3月期第1四半期	10,372	△4.2	1,403	△12.1	1,478	△7.3	817	17.5

(注)包括利益　25年3月期第1四半期　△93百万円　(―%)　24年3月期第1四半期　609百万円　(420.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	13.07	―
24年3月期第1四半期	13.99	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	59,442	38,091	63.7	648.00
24年3月期	60,797	38,521	62.9	654.54

(参考) 自己資本　25年3月期第1四半期　37,877百万円　24年3月期　38,262百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	5.00	―	5.00	10.00
25年3月期	―				
25年3月期(予想)		5.00	―	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,000	△2.4	2,400	△15.2	2,500	△8.7	1,400	△11.0	23.95
通期	41,500	1.6	5,000	1.6	5,100	1.8	3,000	10.5	51.32

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注) 当第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、四半期決算短信(添付資料)4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧下さい。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	58,948,063 株	24年3月期	58,948,063 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	494,391 株	24年3月期	491,277 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	58,455,233 株	24年3月期1Q	58,465,540 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きを実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。

○添付資料の目次

頁

１．当四半期決算に関する定性的情報.....2

(1)　連結経営成績に関する定性的情報.....2

(2)　連結財政状態に関する定性的情報.....4

(3)　連結業績予想に関する定性的情報.....4

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項.....4

(1)　当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....4

(2)　四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....4

(3)　会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....4

３．四半期連結財務諸表.....5

(1)　四半期連結貸借対照表.....5

(2)　四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....7

(3)　継続企業の前提に関する注記.....9

(4)　セグメント情報.....9

(5)　株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....10

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1)　連結経営成績に関する定性的情報

欧州債務問題の再燃による世界的な金融不安の拡大や新興国の景気後退により、世界経済は総じて足踏み状態が続いています。一方わが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景に個人消費や設備投資が持ち直すなど、景気は緩やかな回復傾向を維持しておりますが、電力供給不足への懸念、長期化する円高や株安の進行による企業業績の下振れ懸念など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下、当第１四半期連結累計期間（平成24年４月１日～平成24年６月30日）の売上高は106億43百万円（前年同期比2.6%の増収）、営業利益は14億33百万円（前年同期比2.2%の増益）と、前年の水準を上回りましたが、円高の進行により発生した為替差損の影響等により、経常利益は14億11百万円（前年同期比4.6%の減益）、四半期純利益は７億64百万円（前年同期比6.6%の減益）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①化学品事業

(無機化成品)

ラジアルタイヤ向け原料である不溶性硫黄は、輸出を中心に販売は好調に推移しました。レーヨン・セロハン向けの二硫化炭素は、原料供給元のトラブルにより、生産・販売が一時停滞しました。浴用剤・合成洗剤向けの無水芒硝は、シェアの拡大と採算性の改善に努めました。

(有機化成品)

殺菌消毒剤シアヌル酸誘導品は、海外市場における市場価格の下落により、輸出が低調に推移しました。排水処理剤ハイポルカは市場開拓と採算性の改善に注力しました。

(ファイン　ケミカル)

プリント配線板向けの水溶性防錆剤であるタフエースは、自動車などの最終製品市場の復調を受け、輸出が堅調に推移しました。エポキシ樹脂硬化剤を主用途とするイミダゾール類は、国内販売が伸び悩みました。

この結果、化学品事業の売上高は65億77百万円（前年同期比2.1%の減収)、セグメント利益は13億49百万円（前年同期比10.2%の減益)となりました。

②建材事業

(壁材)

湿式壁材市場の停滞により、内装材を中心に低調に推移しました。

(エクステリア)

新設住宅着工戸数の回復傾向により建築需要が増加する中、住宅分野、景観分野ともに、前年を上回る水準で推移しました。

この結果、建材事業の売上高は39億22百万円（前年同期比12.1%の増収)、セグメント利益は４億27百万円（前年同期比37.0%の増益)となりました。

〔参考情報〕

【販売実績】

セグメントの名称		前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	前年同期比(%)
化学品事業				
無機化成品	（百万円）	2,353	2,309	98.1
有機化成品	（百万円）	2,273	2,242	98.6
ファイン　ケミカル	（百万円）	2,093	2,025	96.8
小計	（百万円）	6,721	6,577	97.9
建材事業				
壁材	（百万円）	638	635	99.4
エクステリア	（百万円）	2,858	3,287	115.0
小計	（百万円）	3,497	3,922	112.1
報告セグメント計	（百万円）	10,218	10,499	102.7
その他	（百万円）	153	144	93.8
合計	（百万円）	10,372	10,643	102.6

（注）　上記の金額には消費税等は含まれておりません。

【海外売上高】

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）		当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	
	売上高（百万円）	連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	売上高（百万円）	連結売上高に占める海外売上高の割合(%)
アジア	1,717	16.6	1,818	17.1
北米	1,267	12.2	1,246	11.7
その他の地域	222	2.1	194	1.8
合計	3,207	30.9	3,258	30.6
連結売上高	10,372		10,643	

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産・負債及び純資産の状況)

総資産は、前連結会計年度末比13億54百万円減少し、594億42百万円となりました。主な増加は、機械装置及び運搬具(純額)17億10百万円、繰延税金資産(固定)４億81百万円、主な減少は、建設仮勘定15億25百万円、投資有価証券12億３百万円であります。

負債は、前連結会計年度末比９億24百万円減少し、213億51百万円となりました。主な減少は、未払法人税等２億91百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末比４億30百万円減少し、380億91百万円となりました。主な増加は、利益剰余金４億71百万円、主な減少は、その他有価証券評価差額金８億83百万円であります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の62.9%から63.7%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第２四半期連結累計期間及び通期の業績予想は、当初の計画(平成24年４月26日発表)を変更しておりません。なお、主要な為替レートは、82円／米ドル、110円／ユーロと想定しております。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

なお、セグメント情報に与える影響については、当該箇所に記載しております。

３．四半期連結財務諸表
(1)　四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,742	7,352
受取手形及び売掛金	14,094	13,942
商品及び製品	5,642	5,390
仕掛品	105	113
原材料及び貯蔵品	2,132	1,951
繰延税金資産	657	618
その他	171	131
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	30,545	29,497
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,939	5,181
機械装置及び運搬具（純額）	2,474	4,184
土地	8,597	8,597
建設仮勘定	1,582	56
その他（純額）	434	442
有形固定資産合計	18,027	18,462
無形固定資産	263	258
投資その他の資産		
投資有価証券	9,906	8,702
繰延税金資産	1,436	1,917
その他	637	622
貸倒引当金	△18	△18
投資その他の資産合計	11,961	11,224
固定資産合計	30,252	29,945
資産合計	60,797	59,442

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (平成24年６月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,150	8,017
短期借入金	2,050	2,025
1年内返済予定の長期借入金	845	841
未払法人税等	876	584
役員賞与引当金	57	13
その他	3,855	3,657
流動負債合計	15,835	15,139
固定負債		
長期借入金	1,974	1,764
繰延税金負債	5	―
再評価に係る繰延税金負債	1,628	1,628
退職給付引当金	1,992	1,968
役員退職慰労引当金	296	288
資産除去債務	345	346
負ののれん	0	0
その他	196	214
固定負債合計	6,441	6,211
負債合計	22,276	21,351
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,867	6,867
資本剰余金	5,741	5,741
利益剰余金	23,711	24,183
自己株式	△290	△291
株主資本合計	36,030	36,501
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	306	△576
繰延ヘッジ損益	△37	9
土地再評価差額金	2,224	2,224
為替換算調整勘定	△262	△280
その他の包括利益累計額合計	2,231	1,376
新株予約権	39	―
少数株主持分	219	213
純資産合計	38,521	38,091
負債純資産合計	60,797	59,442

(2)　四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
売上高	10,372	10,643
売上原価	6,405	6,672
売上総利益	3,967	3,971
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	744	764
広告宣伝費	183	214
給料	482	469
役員賞与引当金繰入額	13	13
退職給付費用	58	43
役員退職慰労引当金繰入額	11	11
研究開発費	233	238
その他	837	781
販売費及び一般管理費合計	2,563	2,537
営業利益	1,403	1,433
営業外収益		
受取利息	1	4
受取配当金	162	133
雑収入	5	5
営業外収益合計	169	143
営業外費用		
支払利息	11	9
売上割引	28	32
為替差損	49	120
雑損失	5	3
営業外費用合計	94	166
経常利益	1,478	1,411
特別利益		
受取保険金	－	50
新株予約権戻入益	－	39
特別利益合計	－	90
特別損失		
固定資産除却損	15	1
投資有価証券評価損	－	69
特別損失合計	15	71
税金等調整前四半期純利益	1,463	1,429
法人税等	642	661
少数株主損益調整前四半期純利益	820	767
少数株主利益	2	3
四半期純利益	817	764

四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	820	767
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△199	△889
繰延ヘッジ損益	6	47
為替換算調整勘定	△17	△18
その他の包括利益合計	△210	△861
四半期包括利益	609	△93
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	606	△90
少数株主に係る四半期包括利益	3	△2

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

Ⅰ 前第１四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年６月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）1	合計	調整額（注）2	四半期連結損益計算書計上額（注）3
	化学品事業	建材事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,721	3,497	10,218	153	10,372	－	10,372
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	－	0	51	52	△52	－
計	6,722	3,497	10,219	205	10,425	△52	10,372
セグメント利益	1,502	311	1,814	△6	1,808	△404	1,403

（注）１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム事業及びフード事業を含んでおります。

２　セグメント利益の調整額△404百万円には、セグメント間取引消去０百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△404百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第１四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）1	合計	調整額（注）2	四半期連結損益計算書計上額（注）3
	化学品事業	建材事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,577	3,922	10,499	144	10,643	－	10,643
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	－	1	53	54	△54	－
計	6,578	3,922	10,500	197	10,698	△54	10,643
セグメント利益	1,349	427	1,776	13	1,790	△356	1,433

（注）１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム事業及びフード事業を含んでおります。

２　セグメント利益の調整額△356百万円には、セグメント間取引消去△０百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△356百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントの変更等に関する事項

「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」に記載のとおり、当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しておりますが、各セグメントのセグメント損益に与える影響は軽微であります。

(5)　株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。